

1-Wall にハンドボール競技規則の概要 (1-Wall に特有な事)

- サーブの方法

1. サーブはサービスゾーンの床にボールをワン・バウンドしてから、フロントウォールに打ちます。
2. サービスゾーンは、ショートライン、サイドライン、サービスラインで囲まれた空間です。サービスラインは左右のサービスマーカを結んだ線です。
3. サーブの際、パートナーはサイドラインの外側にいて、サービスマーカの延長線をまたいでいる必要があります。

- 「フォールト」サーブ：2度行くとサーブを交代する。

1. フットフォールト：パートナーがボールが前を通過する前に、プレーゾーンに入った場合。
2. ショートサーブ：壁ではね返ったボールが、ショートラインを越えなかった場合。
3. ロングサーブ：壁ではね返ったボールが、ロングラインを越えた場合。

- 「アウト」サーブ：1度行くとサーブを交代する。

1. ウォールエッジ：サービスしたボールが壁の外側（上端を含む）に当たった場合。
2. アウトサーブ：壁からはね返ったボールがサイドラインの外側の床に落ちた場合。

- ヒンダー:妨害すること

ボールを打とうとしているプレーヤーが、ボールを打ったあとにプレーヤーの前か横で止まっている相手側のプレーヤーに邪魔された場合は、ヒンダーでは無い。しかし、そちら側のプレーヤーがボールを打った後完全に止まってい、相手側がボールを打とうとして下がって彼に当たってしまった場合にはヒンダーになる。壁から遠い方のプレーヤーは道を空けなければならない。

